

# Performance in Fiscal 2016

## CSRアクションプランの活動報告

CSRアクションプラン2016の目標に対する2016年度の取り組み結果および評価を詳細に記載しています。また、CSRアクションプラン2017の目標も合わせて記載しています。

### Action Plan アイコンについて

活動報告の各ページにはアクションプランの対応番号を明示しています。



生命と健康を守る



豊かな暮らしを支える



持続可能な社会・環境に貢献する



いい会社・強い会社になる

分類	No	中期CSRアクションプラン2016-2018	CSRアクションプラン2016 結果	★★★ 達成	★★☆ ほぼ達成	★☆☆ 努力中	☆☆☆ 未達
生命と健康を守る	1	得意技術によるイノベーション推進と高品質な医薬品を信頼性の高い情報と共に安定供給することによって社会に貢献する	NK105乳癌国際共同試験については主要評価項目が未達成、今後の臨床試験計画を立案中 ジェネリック剤3剤上市、バイオシミラーの開発は順調に進捗	★★☆			
	2	より多くの自動車安全部品をグローバルに供給することで、自動車衝突安全性の向上、人々の安全に貢献する	国内、海外各拠点で生産体制の拡充・強化を予定通り実施、より多くの自動車安全部品を世界に供給 グローバル市場からの品質要求に対応できる製品を目指し新世代製品の開発を実施中	★★★			
	3	研究開発を遂行し、最良の製品を提供し続けることにより、生命と健康を守り豊かな暮らしを支え社会に貢献する	・グループ内外の研究機関と共同研究を推進 ・各研究所と連携しコーポレート研究3件を新規立ち上げ ・全社研究発表大会や分析評価技術交流会等を開催し、知的財産・技術の融合を図る取り組みを実施 中国グループ会社でのグローバル管理体制を確立	★★☆			
	4	情報・通信、省エネルギー・省資源分野へ特徴のある機能化学品材料を提供し、「超スマート社会」の実現に貢献する <sup>※1</sup>	・環境対応型エポキシ樹脂や産業用インクジェットで事業展開を推進 ・アクリル酸製造用高性能触媒も鋭意開発中	★★★			
	5	市場環境や顧客ニーズに適合した農業を提供し、安定した農業生産に寄与する	新規殺虫剤の登録作業等を進め、農業安全使用説明会を各担当地域で実施	★★★			
豊かな暮らしを支える	6	サプライチェーンマネジメントを推進する	・監査、調査等を通じて積極的にサプライヤーとのコミュニケーションをとることで調達リスクを把握し安定調達を確保 ・CSR調達に対するサプライヤーへの周知活動を展開	★★★			
	7	製品品質に対する顧客満足度のさらなる向上を図る	重大顧客苦情：0件 <sup>※2</sup> 「なぜなぜ分析」品質技術教育等による職場力強化のための品質保証活動は継続して実施 品質保証本部を設置し、グローバルな体制を強化	★★☆			
	8	省資源・省エネルギー・地球温暖化対策を推進し環境保全に寄与する	2015年度の実績を踏まえ、2020年度の中期環境目標を見直し、より厳しい目標に向かって取り組みを開始 省エネ機器更新やエネルギー使用方法の見直し等を推進、省エネ点検も実施	★★☆			
	9	廃水処理に関する環境保全技術を向上させる	プロジェクトを組み、既存廃水処理技術の見直しと新規処理技術の探索を実施、今後の成果に向け活動中	★★☆			
	10	地域社会とのコミュニケーションを通じて地域社会との共生と発展に貢献する	・ピンクリボン活動：10月に海外グループ会社も含め各事業場で活動を実施 ・子ども体験型イベント(教育CSR)：各事業場やイベントで化学実験ショーを実施 ・工場祭・懇談会等：計画通り実施 ・「あすなろの家」利用家族数：104家族(稼働率51%)	★★★			
持続可能な社会・環境に貢献する	11	ステークホルダーに対して適時適切な情報発信による対話を行う	事業報告書では任意記載事項を充実し、アニュアルレポートでは企業価値創造プロセスを説明し非財務情報を充実化 IFRS導入検討プロジェクトの活動を継続して実施	★★☆			
	12	人権尊重とワーク・ライフ・バランスのとれた労働環境を提供し、人材育成とダイバーシティを推進する	・「女性の活躍推進に向けた取り組み」行動計画を策定し、目標及び行動計画を社内外に公表 ・製造技術の継承・発展のための教育を各事業場・グループ会社にて継続実施(女性管理職登用比率：6.7% <sup>※2</sup> 、障がい者の法定雇用率：2.1% <sup>※2</sup> ) ・「プラチナくるみん」認定に向け各種の取り組みを実施、本年度末実績で申請予定 ・育児、介護休暇を半日単位でも取得可能に制度を変更	★★☆			
	13	事故や労働災害のない安全・安心な職場環境を維持する	・メンタルヘルス研修受講率、健康診断受診率ともに100%達成 <sup>※2</sup> ・ストレスチェックを実施、高ストレス者への対応も実施 ・重大事故災害の発生：0件 <sup>※2</sup> ・化学物質管理の強化を目的としたリスクアセスメントの社内浸透活動を実施	★★★			
	14	成長する企業グループとして安定的な収益を確保する	・全社レスポンシブル・ケア方針・目標を各グループ会社へ周知するとともに、環境安全衛生診断等で取り組み状況を確認 ・グループ各社で安全衛生活動(各種安全教育、KYT、ヒヤリハットなど)を継続して実施	★★☆			
	15	有事においても事業継続性を確保する	・売上高計画は未達成となったもののコストダウンを推進し営業利益は計画を達成 ・資本効率化を目指し、適正在庫管理を徹底、遊休資産の売却を推進	★★★			
	16	グループ全体へのCSR経営の浸透とコンプライアンスの徹底を継続して図る	・台風被害を想定したBCP訓練を触媒事業部および厚狭工場を対象として実施 ・中国グループ会社2社のBCPマニュアルを策定 ・CSR研修：グループ会社7社73人を含め12回260人に実施 ・コンプライアンス研修：国内集合研修33回2,023人、DVD研修1,422人、海外グループ会社6社の幹部等506人に実施	★★★			
	17	グループ全体のコーポレート・ガバナンスの強化を図る	化学物質に関わる法令を含めグループ全体で各国・地域の法令を遵守した事業運営を遂行 社外取締役に対する、取締役会付議案件の事前説明や各事業の責任者との意見交換の機会を設置 ・重要な会議体の運営状況を評価しガバナンスが機能していることを確認 ・計画通り内部監査を実施、フォローアップ監査はグループ会社3社に実施 ・キャリア採用者を新たに対象に加え、従業員に対する情報セキュリティ教育を継続実施 ・情報セキュリティポリシーを次年度実施に向け策定中	★★☆			

CSRアクションプラン2017
抗がん薬内包高分子ミセルとがん領域抗体バイオンミラーの開発推進、ジェネリック抗がん薬の遅滞ない上市
国内、海外各拠点で生産体制の拡充・強化を進め、安全操業をもとに、世界の各地域において高品質な製品を提供 グローバル市場の高まるニーズにマッチした新世代の製品の設計・生産・販売を計画通り実施
社会ニーズ(顧客価値)を的確に捉えた最良の製品に繋げる研究開発を推進(社内外の知的資産を融合した横断的研究開発の遂行、組織横断的な研究交流の場の提供と運営、コーポレート研究テーマの遅滞ない遂行)
知的財産の創造・保護・活用の推進、国内外グループ会社での管理体制の強化
半導体・電子デバイスの軽薄短小化、デジタル印刷の進展に貢献する機能化学品材料を提供する
新規殺虫剤の上市と製剤化技術を活かした工夫製剤の開発、既存剤の適用拡大
CSR調達の推進による調達リスクの低減と安定調達を確保し、品質向上と適正購買を推進
重大顧客苦情の発生をゼロにするため、なぜなぜ分析の実施、ヒューマンエラー防止の取り組み、再発防止策の水平展開、リスクアセスメントを継続して実施
セーフティシステムズ事業におけるグローバル品質保証体制の強化活動を引き続き実施
2020年度中期環境目標に向けた取り組みの推進
エネルギー使用原単位対前年度比1%以上削減の取り組みの推進
グループ会社を含めた廃水処理技術の向上のため、廃水負荷削減技術および廃水設備運転最適化を検討、実施
各地域における工場祭・懇談会・地域清掃活動・ピンクリボン活動・子ども体験型イベント(教育CSR)等の継続実施
企業価値向上を意識した財務・非財務情報をタイムリーかつ公平・公正に開示するとともに、ステークホルダーとの対話を充実化
IFRS導入に向けての準備・調査を継続実施
多様な人材が活躍できる環境づくりと人材育成(ダイバーシティ&インクルージョン)(女性活躍の推進、グローバル人材育成、製造技術の継承・発展のための教育等)
次世代育成支援対策推進法に則した取り組みの推進(育児・介護の支援、男性の育児参加促進、時間外労働の削減、有給休暇取得率の向上等)
改正男女雇用機会均等法に則した職場環境の整備(セクハラ・マタハラ・LGBTへの対応)
従業員の労働安全衛生へ配慮した健康経営の推進(メンタルヘルス研修の継続実施、ストレスチェックの実施、安全衛生にかかわる職場改善等)
事故災害を未然に防止するための活動の継続実施(防災訓練、安全審査、化学物質管理の充実とリスクアセスメントの効率化等)
グループ各社で「日本化薬グループ2016年度レスポンシブル・ケア方針」に基づく安全衛生活動を推進、海外グループ会社の環境安全診断および教育を実施
経営資源の最適配置と資本効率化を図り、中期事業計画の達成を目指した事業運営を推進
現場に則した訓練の実施、BCPマニュアルの見直しを継続実施
グループ会社を含めたCSR・コンプライアンス研修の継続実施
各国・地域の法令遵守、法改正等への迅速かつ適正な対応
取締役会の実効性評価の実施、社外役員との適時な情報交換を通じてガバナンス体制を強化
内部統制、リスク管理の継続実施と体制強化、内部監査の実効性の向上とフォローアップを継続実施
情報セキュリティ体制を整備し、企業情報管理の強化を推進するとともに、情報管理に対する従業員の意識向上とグループ会社への展開を図る

※1：2017年4月より表現を一部変更 ※2：日本化薬単体の数値